

Q&A 一般質問



植條敬介議員（市民グループ未来の会）

一般質問は市政全般にわたり、市長その他執行機関に対し、事務の執行状況や将来への方針等について、所信を質したり、報告や説明を求めたりするために行うものです。

3月定例会でのみ所属議員3人以上の会派が代表質問（時間120分）を行うことができます。今定例会では3会派が代表質問を行い、4名の議員が個人質問（時間60分）を行いました。

※質問の要旨を質問順に掲載しています。（代表質問は4～6ページ、個人質問は7～8ページに掲載しています）

代表質問



うえじょう けいすけ
植條 敬介 議員
市民グループ未来の会



持続的な財政運営を

Q 今後も厳しい予算編成は避けられない中、どのような方針のもと持続的な財政運営を行っていくのか。

A 市民が心豊かにゆとりを持って暮らせるまちづくりを推進するためには未来への投資が欠かせず、老朽化した公共施設の更新などにも多額の財源を要し、今後さらなる財源の確保が必要となると考えています。

持続可能な財政運営を進めるために、歳入面では、市有資産の有効活用や売却などを検討するとともに、ふるさと納税の増収に向けた取組を行うなど自主財源の確保に取り組んでいきます。また、歳出面では、民間が持つ技術や資金を最大限生かすため公民連携に積極的に取り組むとともに、個々の事務事業について実施の意義や効果を検証し、事業の廃止・見直しを検討するなど行財政運営の簡素効率化と財政構造の健全化に全力で取り組み、自立的かつ積極的な行政運営に必要となる安定した財政基盤を構築していきます。

（総務部長）

JR坂出駅前再整備等の進め方は

Q JR坂出駅前の再整備のためには行政主導による明確なビジョンの策定及び公民連携ができれば、駅周辺の構築が重要であるが、どのように進めていくのか。

A JR坂出駅前再整備に向け、令和4年度に、まず、基本構想を策定します。

事業の実施のために必要となる公民連携による整備運営手法について具体的な検討を進めるとともに、庁内においては検討委員会を立ち上げ、駅前複合施設の整備方針について合意形成を図っていきます。

また、駅前複合施設の活用について、坂出の将来を担う高校生を対象としたワークショップの開催を予定しており、高校生からの提言も参考にしながら、駅前再整備におけるイメージパースや基本方針、ロードマップ等を作成していきます。

（市長）

公共施設管理の進捗状況とマネジメントの推進

Q 公共施設管理の進捗状況は。また、市内全体の施設を総合的に維持管理するに当たり、具体的なマネジメントの推進に関する考えは。

A 令和3年度には、市民ホールの改修、市立体育館の特定天井の改修などを実施し、令和4年度では、火葬場整備事業として基本計画の策定、旧藤田外科解体事業の実施などを予定しており、公共施設の総合的かつ計画的な管理を推進していきます。

今後、着実に公共施設のマネジメントを推進していきますが、JR坂出駅前の複合施設の整備方針、コミュニティ施設の在り方についての検討、さらに、将来の公共施設の適正配置は、学校施設の再編整備と密接な関連性を有することから、その方向性も見定め、総量抑制、多機能化・複合化による公共施設の適正配置について議論を深めていきます。

（市長）

質問の主な項目

- ・ 緩衝緑地再整備計画について
- ・ 子育て世代に選ばれるまちづくりについて
- ・ ゼロカーボンシティの実現に向けた取組について など